

刊夕 日二十月二

# 常磐毎日新聞

定価 一部五銭 二ヶ月五拾銭 三ヶ月七拾五銭  
半年一圓二角 一年二圓二角  
電話 五五五五 五五五五  
日曜祭日の翌日休刊  
発行所 常磐毎日新聞社  
印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

## 高野行き

多賀達夫

私は暫くここに立ちどま

つて、こんな山奥に果して  
Tさんの家があるのだらう  
かと、やゝ呆然として、そ  
んな疑問さへ瞬間とらはれ  
たものだつた。

が、視界をたのしめるの  
もこれからである、不幸に  
して私の筆には盡せないが  
徑は深い谷川に沿つて右手  
の山裾を縫つてゐる。丁度

私たちが其の邊にさしか  
つたとき、冬枯れの山が傾  
きかゝつた陽を浴びて、茜  
色にもえてゐた。谷を覗く

と、川底をすかした清水が  
それ程かなりの水嵩で流れ  
てゐる。そのしぶきが様々  
の形で岸や岩に白く凍りつ

いてゐるのであつた。  
書家や歌人を本當に羨や  
ましくなるのもかういふ時  
であらう。

苔の花露のしぶきにそぼ  
ぬれてほそぼそと咲くつ  
しましさまよ

これはTさんの歌である  
Tさんの歌の中では私の最  
も愛誦するもの、一つであ  
るが、季節が季節で苔の花  
は咲いてゐなかつた。

しばらくすると雑木林を

背に、木立ちに圍まれた瓦  
屋根が真向ふに見える。こ  
れがTさんの家である。勤  
めの歸りに其の家に點され  
た灯を此處から眺めて、T  
さんはこんな歌を詠んだの  
だ。

谷川のほとるとまがう片  
里の灯一つわれをまらつ  
つ

家の前に行くつと、庭に遊  
んでゐた小さい弟さんがい  
ちはやく私たちを見つけて  
人なつこい微笑で歓迎して  
くれた。

「姉ちゃんか？」ときくと  
「うーん」と首を振つた。  
何處へ行つたの？と重ねて  
訊質さうと思つたが、それ  
もせんなきことと思ひ直し  
そのまゝ、高野へ足を向け

000000000000  
明日の献立  
000000000000  
【朝】味噌汁 白菜 小付  
蛤時雨煮  
【晝】煮奴 小付 うぐひす  
豆

【晚】かき貝鍋 豆腐 かき  
貝 うど煮物 くわい  
か煮

高野中の湯に着いた時は

一人の客をつかまへると、  
今度は面白半分主人の罵  
倒をやり出した。

## 文藝募集

一人の客をつかまへると、  
今度は面白半分主人の罵  
倒をやり出した。

家を出るときの元氣とはあ  
べこべに、人がみたら随分  
情ない顔をしてゐたことだ  
らうとおもはれる。寒さは  
寒いし、よほど疲れてもあ  
た。「湯に入れて下さい」と  
友人は妙に哀つぽい聲を出  
したのである。「お泊りで  
すか？」といふ主人に、い  
や一ぺんさきりですぐ歸るの  
だと私は何かしらん腹立  
しい氣持ちで答へた。そして  
この氣持は、玄關側の、す  
ぐつきあたりの間に通され  
て間もなくつひに破裂する  
ときが來た。「何だ人をば  
かにしてゐる！」  
部屋には火もなく座布團  
もなく、茶をいれてくれる  
様子などは更にないのだ。  
「ばかにするな！」と私  
はもう一べんどなり、それ  
から二人で聞えよがしの悪  
口をはじめた。が、とにか  
く火の氣のない所にいつま  
でも顛へてゐるわけにはい  
かず、湯にとびこんだので  
ある。流石に湯はきれい  
であつた。幸ひ、混んでもあ  
ない、それだけで私たちの  
不氣嫌は忽ち直つてしまつ  
たのであるが、しかし若い



喜多流 平厩館  
電話 624

是非！  
御融通には御用命下さい。  
萬事便利な御相談に應じ  
ます

三井質店  
平・四電六〇六番

かまぼこ 製造  
お惣菜用  
さつま揚  
吉原揚

平町一丁目  
電話 一四一番

和漆器と家具は 和久井屋  
平町一丁目  
電話 四〇五番

喜多流 謠曲と仕舞の  
お稽古をお奨め致します  
平町田町六九  
電話 二二七番

喜多流 仕舞白土會  
入會隨時

時代の要求—  
皆様の足？  
尼子タクシーへも豆タクが入  
りました  
御立關から玄關へ 迅速簡便  
是非御利用を

市内 三〇銭  
市外 四割引  
流線型セダン  
大型貸切バス  
宮行—直通は二丁目尼子自動車部よ  
り發車いたします  
平町二丁目  
電話 六四〇番

吸入用酸素純度 99%  
モノサシ  
マ ス  
ハカリ  
器量計  
体温計  
寒暖計

秤ノ取緒・垂糸・修繕致シマス

關内藥局  
電話 四〇番

寫真材料一式販賣致シマス

# 氣乗りせぬ

## 肅正試練の選挙

### 棄権数が相当多い模様

総選挙正に白熱期に達したといひたいところであるが言論戦のみはどうか各派の候補者が頻りに開演して居り變つた應援辯士を求めて聴衆の多くを

期待して居るけれども何れの演説會場に於てもおしなべて入場者が出ない事は前回の縣會議員選挙當時より一層甚だしく選挙明瞭化の今日これはまた言論戦に期待する有権者の少ないことを裏書するものと見るべく全く選挙肅正の宣傳の期待とは反對に

郡下一般に選挙気分

## 斬り込みに

### 入り亂れて

#### 六派の大争覇戦

##### 各警察署防犯陣を張る

縣下隨一の激戦地となつた第三區に於て殊に有権者の約六割を占める本郡は鈴木比佐、星三派入亂れて鏖ぎを削つてゐるが果然北部相双二郡の松本、氏家、植松三派が九日來炭礦農漁村の

浮動票を狙つて進出一勢に斬り込むため六派入亂れて言論、文書の大争覇戦を展開物凄く緊張振りを見せつゝあるので平署は植田、四倉各署と連絡嚴重な防犯陣を張つてゐる

## 堀切氏が 應援演説

鈴木候補に

残すところ後八日に切迫した今次總選挙に第三區から出馬した政友會公認候補鈴木木辰三郎氏は文書に言論に奮戦中であるが来る来る十

## 建國大行列

### 昨日平町で決行

平町は國民總動員の下に全國に盛大に舉行された昨十一日の建國祭に際して梅崎

海軍中佐の講演會を催した外午前十時二十分平第一小学校々庭に全町の小中學生其他各種團體集合同冊分に學式後樂隊先頭に縣社から紺屋町を練り本町に抜け五丁目に至つて第一、二、三班夫々分れ第一班は新川町より大町、播磨小路、第二班は大工町、田町、第三班新川町、南町、谷口前通りを經夫々役場前に到着解散空前の盛況を現出した

## 古河旗行列

好間村古河炭礦は建國祭の十一日午前十時から六百名の従業員

九日同候補應援のため前大藏次官前衆議院議長堀切善兵衛氏が來町することになり同夜平町聚樂館で鈴木候補のため應援演説會を開くと決定した

## 清田檢察

### 選挙戦視察

平檢事局清田檢察は今十二日双葉郡へ出張浪江富岡方面の選挙戦視察を行つた

警察部長巡視 島田

警察部長は中村原ノ町浪江町を經て木十二日夕刻來平一泊十三日平四倉植田各署巡視し同日歸郷の豫定

## 平自營會の 成績注目さる

### 吉岡常務が天恩に恐懼

昨日の紀元節の佳き日に長

## 公判開廷

### 警女生傍聴

きあたりより司法保護事業の福島至道會と共に御内帑金を御下賜された財團法人平自營會は常任理事吉岡董太郎氏が謹んで優渥なる大御心に御禮を以て

殿殺と玉齋の 公判開廷 警女生傍聴 (既報) 僅か一圓の催促の 謎れから同僚を殿殺した當時内郷村大字宮字代六九佐川武治方棟制長尾居住田村 郎大越村生れ日雇稼吉川幸太郎(に)に係る傷害致死事件の公判は来る十五日午前十時より平支部で中島裁判長係り小林、香西兩判事陪席氏家檢察官千葉官選辯護士列席の下に開廷される

女青年團合同總會を開いたが千葉平第二小學校長が講演を行つた

中島裁判長出福の爲延期された稀代の偽書家竹田玉齋の公判は来る十八日午前十時と決定した尚右兩公判を警女四年生全部が二班に分れ傍聴すると

## 勤勞は尊し

### 自費で修學旅行

#### 錦校兒童に勞働の實は結ぶ

勤勞兒童で知られてゐる錦村小學校高等科及び尋常科本年度卒業生は養蜂、養鶏、養兔等共同勞作で得た金のほか家庭よりは一錢の補助

も受けないで修學旅行を行ふことになり高等科は一泊二日の豫定で東京方面へ尋常科は日歸りで水戸及び霞ヶ浦航行隊へ見學にいづれ

## 男女工見習

### 右至急募集す

希望者來談あれ

常磐毎日印刷會社

長橋町 電話六三〇

## 平町人事

### 回出生

- △四軒町二一 當時大連市伊勢町一〇九 山田哲氏 長男勝彦さん
- △五色町二五 小泉三郎氏 五女勝子さん
- △月見町二七 喜田八百氏 七男信夫さん
- △二丁目六 當時東京市王子區志茂町三丁目 石田周一郎氏三男仁義さん

### 回婚

- △田村郡美山村大字北鹿又字館三四安瀬三郎氏(三〇)一丁目三一坂本ヨシさん(二六)
- △四軒町二一 山田哲氏(二五) 鹿兒島縣始良郡加治木町木田二七四六日高トシさん(二七)
- △道尾小路三二 木村淺義氏(三九)

# 本紙の記事を讀み

## 學童が感激

### 病める同級生の爲めに

#### 小遣錢を節約して贈る

平第一小學校横出訓導擔任の五年二組の兒童一同は去月十六日日本紙々上に報導された平町古鍛冶町居住左官職吉渡友吉さん(一)一家の飢餓線上にあえぐ極貧家庭のため區長木澤常松氏から町役場へ救護申請のつた窮狀の記事を讀み同級生で現在チブスで隔離されて居る保夫君を慰問しやうと生徒等が自發的に相談を總め横田先生に許しを得て去月廿日以來ボール箱で

## 平少年團が

### 聯盟に加入

#### 一 二荒伯爵から

#### 登録濟の通告

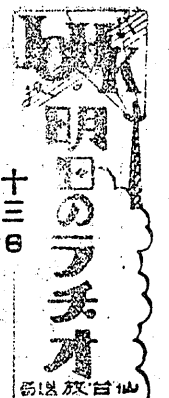
#### 青沼家の寄附金で團旗調製

平少年團は昨年十二月設立以來七十餘名の團員が最近では正式の服装も出來し毎週可憐な姿で訓練を勤み特殊な少年の社會教育機關として注目されて居るが財團法人大日本少年團聯盟から内容充實せるものと認められて聯盟への加盟を許可された旨理事長二荒伯爵から

## 申請ありませんと

### 火元の妻投身自殺

山田村大字石之内農山田艶之助妻女ハルさん(五)は去る八日かまどから小火を出したのを苦にして以來精神



明日の話題 氣象通報 同様

## 今晚の部

- 後六〇〇 子供の時間 偉人物語「發明王トマス エヂソン」東京放送童話研究会
- 後六二五 基礎英語講座 (十一) 岡倉由三郎
- 後七三〇 講演 内務省
- 後八〇〇 唐澤俊樹 管絃樂 鰐淵賢舟 新交響樂團
- 後八三五 哥澤 哥澤芝 勢以
- 後八五五 浪花節「安倍川の血煙」木村友忠
- 後九〇〇 時報ニュース

## 酌婦逮捕

東白河村竹貫村亭喜屋 事録川りゆう方に去月二日

## 財産横領か

### 許婚を拒む

#### 印鑑盗川の告訴

湯本町宇水野谷二五農矢吹昇平(三)は本十二月平署に同所矢吹莊治(五)を相手取り印鑑盗用並に

## 仁井田工事入札

大野村ヤギキ地内仁井田川 災害工事としての延長二十八メートルト護岸工事

## 結果如何?

### 貨車顛覆事件

#### けふ現場調査

湯本町濱海地内の貨車脱線 顛覆事件に就いてはその原因が線路の水結に依ること判明したが責任問題から果

## 無慘・生不動の死

勿來町大日本炭礦居住同礦 坑夫門脇小三郎二男辰男 (二)は九日午後一時頃自宅 爐で石炭の火で暖を取るう

# 吉田眼科醫院

平紺屋町 電話六八番 醫學士 吉田久雄



（著上原）  
悟道軒圓玉（作）  
丸尾至陽（畫）

四五 急な追撃

内田万之助は好まぬ酒を九郎右衛門に勧められ目をとちてグツと飲んだが、しばらくすると酔ひが出て目はちらつき家はグル／＼まはり、九郎右衛門とおその顔が二つにも三つにも見える、さては此奴は妖怪變化であつたかと膝元の刀に手をかけた、この時九郎右衛門

九「これ待て、何をやる貴様の酒は甚だよろしくない吾々を化物と思つて居るか」  
万「何んとなく合點の行かぬことのみでございます」  
九「万之助、貴様は酒は好まぬなくすな、貴様は下戸だな、しかるに何故酒が好きだと申す、當家の婿になるをさけるために、そのやうないつはりを申したか、おそのが氣に入らぬか、何に、しかと答へろ、仔細あつて何うしたと、これ、何んとか申せ」  
追窮されて萬之助、目の前におそのがあること、婿になれぬとも言へぬさりとて承諾することもならず、心のうちにはかきむしられるやう、その苦痛をグツとこらへて

萬「手前のごときおろか者を御當家の家督人となしがつまたおそのどの、婿におかへくださることは冥加至極添じけなきことではございますが、手前ごときもの



は到底御當家を相続する程の資格はございません、依つてこの儀はおことはり仕舞います」  
九「またしてもこのやうなことを申すか、俺は貴様の人物にほれて居る、貴様ならば當家の相続人と到すと

もはづかしくない、これその先日ちよつと母からも申し聞けたであらうが、萬之助を貴様の婿にいたす、いやか、但しは承知いたすか、かやうなことは親の威光で取りさめるはよろしくない、その人によつて貴様一生の幸不幸がさだまる、否か應が、これ、何を考へて居る早く返答いたせ」  
とせき立てられ、おそのは處女のこと、その答へにこまり顔をあかくしてさしうつむく、それを見てゐた母親が

しづ「何んですねあなた、さうあなたはやうに氣をみぢかく遊ばしてはおそのが困りますよ、わたくしは覺えがございませぬが、年のいかぬ内は心に思つてゐたことも口にすることのならぬことがございませぬ、わたくし

しが御當家へ縁付きますとに母にこんなことをいはれましてその答へに困りました」  
九「何をいふこの婆ア、貴様は縁談について考へる程の資格はない狸婆ア、何ういふものか同じ年老でも婆アは憎い、さて、女は罪の深いものだ、これおその何うだ、さア、こゝで答へろ」  
その「ハイ、お父さまに御苦勞をかけては子の道にそむくこと、存じます、しかし萬之助様が――」  
九「よし判つた、これ萬之助、娘は承知だ、貴様はかくても辭退いたすか」  
萬「しばらく御猶豫くださいますし御當家を相続いたさば衣食住も安泰、しかしそれはあなた御蔭、手前も男でございます、他の家の家祿によつて一生をすごさすは恥づべきことでございます、よつて手前は自ら運命を開拓いたしましてし、かしておそのどのを妻に申し受けます、この事お聞きすみくださらば有難いことに存じます」とさつぱり申した、九郎右衛門これを聞いて

九「ウム面白い、俺の家祿によつて衣食住の安定を得るは恥辱故自分の力を以て運命を開拓すると申すか、ではかう行きたい、俺はその意氣にほれた、しかし萬之助、俺の手もとに居つてしかして運命を開たくいたせ」  
萬「仰せにはございませぬが

御當家に居りましては立身いたすは不可能、これから京都に参りまして一修業いたします」  
と言つたは、こゝにゐてはかねての目的を貫くことは出来ない、九郎右衛門はこの時デツと萬之助を見て居る。

看護婦急派  
求めに應じます  
平町南町  
平看護婦會  
電話三〇七

木村病院  
平町新川町十九  
電話一六四番

上田病院  
平町南町  
電話二二九番

耳鼻科専門

大和田醫院  
平町南町一六（電話一七〇番）

内科 小兒科 花柳病科

藤沼醫院  
平町紺屋町 電話五〇七番

内科一般

醫學博士 難波睦  
看護婦募集  
平町大町新川端  
電話五〇二

お年始に

鯉節



魚問屋 商榮盛賀志  
(三一二電)目丁四平